



# 県病医療ニュース

〒870-8511 大分市大字豊饒476番地 TEL097-546-7111(代表)2710(内線:県病ニュース係)  
 ※当ニュースへのご意見・ご感想は県病ホームページまたは、1階中央待合ホール備付けのアンケート用紙をご利用ください。

## 腎臓膠原病内科

# むくみ(浮腫)の原因はなに?

### むくみ

夕方になると足がむくみ気味になる方は多いと思います。長時間椅子に座った後や立った後に足がむくむのは誰でも大なり小なり経験されるものです。

しかし、朝起床時から、押さえたあとがへこむようなむくみ(浮腫)が出るのは何かしらの病気の兆候である可能性があります。

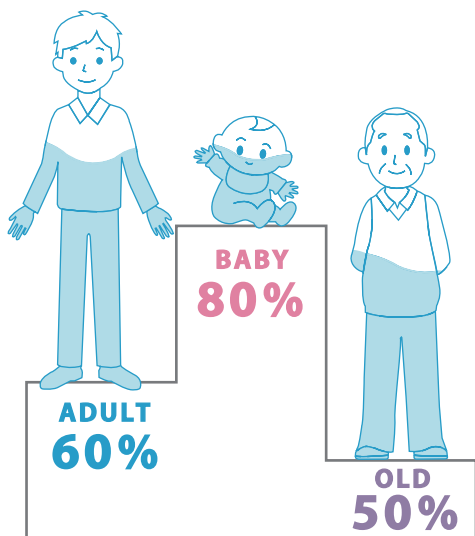


図1

### 体の水分量

私達のからだのあらゆる部分は水を主成分としてできています。からだの水分量は大人で約60%、新生児は約80%、高齢者では約50%といわれています。(図1参照)

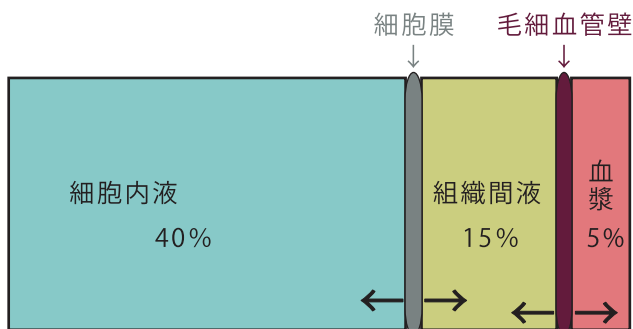


図2

さらにその体重の60%を占める水分の分布は細胞内の液体として2/3(40%)細胞外に1/3(20%)で細胞外液は更に組織間液(細胞の間にある液体成分)15%と血漿(血管内の液体成分)5%に分けられます。

(図2参照)

# むくみ(浮腫)の原因はなに？

## むくみの原因

浮腫はこのうちの組織間液の増加のことなのです。浮腫は血漿から毛細血管壁を通して組織間液側に水がにじみ出てくることで起こります。

## 体の水分量

浮腫は片手あるいは片足のみにおきる限局性浮腫と左右が変わりなく重力に従って下肢に強い全身性浮腫とに分かれます。限局性浮腫は手術後や局所の炎症などでおきることが多いのですが全身性浮腫は内臓の病気が隠れている可能性があります。

## 全身性浮腫の特徴

全身性浮腫の主な原因臓器は心臓、肝臓、腎臓です。

心臓からくる浮腫は心機能の低下により毛細管圧が高くなり、血漿から細胞間に水が移動することにより、息切れや、息苦しさなど肺の呼吸症状を伴うのが特徴です。

肝臓からくる浮腫は肝硬変の場合に血漿の浸透圧低下がおこるためです。肝硬変による腹水を伴いお腹の張りもあることが特徴です。

腎臓からくる浮腫は尿にタンパクが多量に出るため血漿の浸透圧が下がるためにおきます。これをネフローゼ症候群といいます。ネフローゼ症候群ではおしっこの泡が多量にたち、消えにくいのが特徴です。

心配のない浮腫もあるますが、やはり朝起きた時から足がむくんでいるような方は一度お医者さんに相談してみることをお勧めします。



(腎臓膠原病内科 部長 柴富 和貴)